

## 【バイオマス燃料調達契約の解説】

## バイオマス発電事業の契約実務と法的リスクの留意点

【講師】

ベーカー&amp;マッケンジー法律事務所（外国法共同事業） パートナー 弁護士 江口 直明

（敬称略）

## 【講義概要】

バイオマス発電は昼夜を問わず、また天候を問わず発電できるので安定した電源になりうる。しかし、太陽光や風力と異なり、燃料は自前で調達してこななければならない。バイオマス発電事業の成功のカギはいかに安定した価格で確実にバイオマス由来の燃料を確保できるかにある。バイオマス燃料の供給側である山側の認識とバイオマス燃料の需要側である発電所側の認識にはかなりのギャップがあり、プロジェクトファイナンスに耐えうるバイオマス燃料長期売買契約が締結できていない案件が散見される。2016年4月からの電力小売完全自由化を踏まえ、自前電源としてバイオマス発電の重要性が高まっている。またCOP21を受けてバイオマス混焼の機運が高まっている。

本講義では、再生可能エネルギーの全量買取制度の最新の動き、及び資源エネルギー庁のモデル売電契約を解説した後に、バイオマス燃料調達契約について重点的に解説する。特に海外のバイオマス燃料の生産者からバイオマス燃料を長期安定的に購入する調達契約を解説する。また、具体的にプロジェクトを遂行するためには、土地賃貸借契約、売電契約、建設契約（EPC）、運営契約（O&M）、性能保証、保険契約、プロジェクトファイナンスの融資契約・担保契約などさまざまな契約書を作成・交渉しプロジェクトを組成していく必要がある。また、電力会社との工事負担金の交渉も不可欠である。本講義では、各契約作成の注意点を検討する。さらに資金調達方法としてプロジェクト・ファイナンスを考える場合の視点も織り込んでいく。

## 【重点講義項目】

1. 全量買取法をめぐる最近の動き～ 改正再エネ法成立 太陽光から風力・バイオマスへ
2. 電力小売自由化と自前電源の重要性
3. 火力発電に係る判断基準WGの動き
4. 環境省と経産省の対立、バイオマス混焼比率のアップ
5. 特定契約・接続契約モデル契約書の内容
6. バイオマス供給契約
  - (a) 契約期間
  - (b) 契約価格
  - (c) 品質
  - (d) 供給義務と供給できない場合の損害賠償、スポンサーサポート
  - (e) 解約権の制限
7. 各種契約
  - (a) 土地賃貸借契約
  - (b) 建設契約（EPC）
  - (c) 運営契約（O&M）
  - (d) 性能保証
  - (e) 保険契約
8. 再生可能エネルギーのプロジェクト・ファイナンス
9. スポンサーサポート契約

講演スタイル

プロジェクターを使用します

\*当セミナーの録音、転送、撮影等はお断りしております。また、法律事務所ご所属の方は、お申込みご遠慮願います。

## 講師略歴

ベーカー&マッケンジー法律事務所の銀行・金融部門のリーダー、取扱太陽光案件：100MW、80MW、40MW、30MW等の大規模案件、複数の2MW以下案件のバンドリング、TK-GKスキーム、屋根貸し案件、取扱風力案件：北海道幌延、北海道さらきとまない、北九州響灘、青森県六ヶ所村、愛媛県三崎町、秋田県八竜、石川県輪島、その他取扱環境エネルギープロジェクトファイナンス及びPFI案件：バイオエタノール・ジャパン関西（株）、吾妻木質バイオマス発電（13MW）、向浜バイオマス発電（20MW）、黒部市下水道バイオマスエネルギー活用施設整備運営PFI、福岡クリーンエナジー廃棄物処理及び発電、福山RDF発電、東京臨海リサイクル発電、横浜市消化ガス発電PFI、埼玉県彩の国廃棄物、堺市資源循環型廃棄物処理施設PFI、その他廃棄物DBO案件多数、海外売主との長期バイオマス調達契約のアドバイス、自家所有水力発電所や火力発電所の会社分割によるファンドへの売却と売電契約。1986年一橋大学法学部卒業、1988年東京弁護士会登録、1992年ロンドン大学（UCL）法学修士（国際ビジネス法）取得、1993年ベーカー&マッケンジーロンドン事務所勤務 内閣府PFI推進委員会専門委員（2010年～）国土交通省空港運営のあり方に関する検討会委員（2011年）【主な論文】「日本におけるプロジェクト・ファイナンスの立法課題」（ジュリスト1238号）、「アジアにおけるプロジェクトファイナンス」（OKAJI）他【ベーカー&マッケンジー法律事務所（外国法共同事業）】日本人弁護士110人、外国法事務弁護士19人、外国で資格を有する弁護士16人、その他税理士、弁理士等、専門家総計176人の国際法律事務所。

《 日本ナレッジセンター セミナー NO. 161015 》

開催日時

2016年10月13日(木) 13時30分～15時30分(開場:13時15分)

(セミナー終了時間につきましては、Q&Aにより10分程度前後致します)

会場

厚生会館 東京都千代田区平河町1-5-9

(会場へのアクセスにつきましては、お申込後、会場アクセス地図をご案内致します) TEL (03) 3264-1241

参加費

1名 23,382円 (21,650円+消費税) 2名(同一法人) 同時申込 43,308円 (40,100円+消費税)

注1) 2名同時申込料金は、同時申込以外の場合は適用されませんのでご了承下さい。

注2) 3名以上にてお申込みの際は、上記2名料金を基準に算出致します。(2名料金÷2×参加者人数)

注3) 振込手数料はご負担願います。

申込方法

1. 下記の申込欄をご記入の上、FAXにてお申込下さい。Eメールにてお申込をされる場合は、下記申込内容と同内容をご送信下さい。(フォームはご自由にて結構です)

2. お申込を頂きますと、①受講証 ②会場地図 ③ご請求書をご郵送致します。

お申込をされてから、5日程度経過してもお手元に上記書類が届かない場合はご一報頂けましたら幸いです。

3. 参加費は開催前日までに請求書に記載の銀行口座へお振込み下さい。

開催後のお振込みとなる場合は、下記の申込書内の「お振込み予定日」を必ずご記入下さい。

4. 定員になり次第締め切りますので、早めにお申込下さい。

5. 振込先: みずほ銀行 新橋支店(店番号130) 普通2288581 口座名: 株式会社日本ナレッジセンター

ニホンナレッジセンター

申込み先 株式会社日本ナレッジセンター 〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-12-12 虎ノ門石田印房ビル

TEL:03-5511-8668 FAX:03-5511-0707 Eメール: info@jkcc.jp

キャンセル(お申込み後の取消しについて)

お客様のご都合でキャンセルをされる場合は、FAX又はEメールにてご連絡下さい。また、キャンセルに際しましては下記の通り適用致しますので、お申込前に十分にご確認下さいます様お願い致します。

〈キャンセル料〉①開催日より4日前まで(土日及び祝日を除く)・・・無料(10月7日迄)

注) お客様の御都合によりキャンセルされる場合、返金時の振込費用をご負担下さいます様お願い致します。

②開催日より3日前から(土日及び祝日を除く)・・・参加費の全額(10月8日以降)

注) ②の場合はセミナー資料の送付または代理人の出席をもって参加とさせていただきますので、ご了承下さいますようお願い申し上げます。

参加申込書 このままFAXにてお送り下さい、着信のご連絡を申し上げます。(ご記入者氏名: )

10月13日(木)開催【No. 161015 バイオマス発電事業の契約実務と法的リスク】2016年 月 日

会社・団体名		
所在地 〒		
TEL		FAX
参加者ご氏名	フリガナ	所属部署・役職名
請求書のご送付先	<input type="checkbox"/> ご記入者宛て <input type="checkbox"/> ご参加者宛 <input type="checkbox"/> 右記	
お振込み予定日	(開催後のお振込みの場合のみ記入) 年 月 日	
Eメールでのセミナー案内希望	@	

・当日は出席者(団体名)リストの配布を致しません。・講師へ団体名、部署、役職、氏名を連絡しております。

ご記載頂きましたお客様の個人情報は、厳正な管理下で安全に保管し、当該セミナーに関する業務の処理及び今後のセミナーのご案内に利用させていただきます。また、当該セミナー講師以外の第三者へ情報を提供することはございません。

◆個人情報についてのお問合せ先:

〒105-0001 港区虎ノ門1-12-12 株式会社日本ナレッジセンター 電話 03-5511-8668 info@jkcc.jp